

鳥取 会報

第38号

2024年1月



米子城跡から望むダイヤモンド大山

目次	表紙	1	高齢者活躍人材確保育成事業実施状況	14~17
	新年のご挨拶（連合会会長）	2	シルバー人材センターの紹介	18~19
	新年のご挨拶（鳥取労働局長）	3	会員のひろば（鳥取市SC、日南町SC）	20~21
	理事長・会長の抱負	4~10	趣味のひととき（境港市SC、湯梨浜町SC）	22~23
	事業実施状況	11~13	正会員名簿・あとがき（裏表紙）	24

新年のご挨拶



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 有馬 均

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、新年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様には、シルバー事業の運営にご支援とご協力に感謝申し上げます。また、地域の皆様のご支持と行政など関係機関の皆様には、シルバー事業について深いご理解とご指導ご鞭撻を賜りあらためて厚くお礼申し上げます。

さて、昨年十月から「インボイス制度」がはじまりました。センターの皆様には、更に事務量が増加しています。更には、令和六年秋には「フリーランス新法」が施行予定されておりま

ど今後種々の制度改革が予想され、これらのことへの対応を考えねばならないと思っています。

昨年十月二十四日、二十五日に開催された中国ブロックシルバー人材センター連合協議会役員研修会には、中国五県から三百人近くの多数の役員が参加されました。過去の研修会にはない程の参加者数とのことでした。このことは各センターの皆様方のシルバー人材センターの事業について並々ならぬ思いがあったからではないかと思われました。あらためて参加いただきました役員の皆様にお礼申し上げます。

また、各センターにおかれましては、三年以上にも亘るコロナウイルス禍を乗り越え、様々な努力をなされており敬意を表します。本年も会員拡大と魅力ある就業先開拓の両輪の実現の

ために、知恵を出し合い、汗をかきながらシルバー事業の更なる発展のために、今後皆様と共に情報交換をしながら頑張ろうではありませんか。皆様にとつて、幸多いよい年になりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

第13期 公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会理事及び監事名簿

役職名	氏名 (敬称略)	所属
代表理事	有馬 均	公益社団法人南部広域シルバー人材センター理事長
代表理事	伊藤 茂樹	公益社団法人鳥取市シルバー人材センター理事長
代表理事	田民 義和	公益社団法人倉吉市シルバー人材センター理事長
理 事	西川 昌康	公益社団法人大山町シルバー人材センター理事長
理 事	谷口 辰夫	公益社団法人智頭町シルバー人材センター理事長
理 事	中澤 博之	公益社団法人岩美町シルバー人材センター理事長
理 事	米村 繁治	公益社団法人湯梨浜町シルバー人材センター理事長
常務理事	安田 秀樹	公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会事務局長
監 事	日置 勝彦	公益社団法人北栄町シルバー人材センター理事長
監 事	玉木 都我雄	公益社団法人米子広域シルバー人材センター会員

新年のご挨拶



鳥取労働局長

平川 雅 浩

シルバー人材センター会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。穏やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

長く続いたコロナ禍も一定程度終息し、県内の経済活動も回復してまいりました。商業施設や観光地の客足もかなり戻ってきたように見受けられます。会員の皆様も、日々の暮らしや活動の中で、変化を実感することが増えてきたのではないかと思います。

さて、鳥取県内の雇用情勢につきましては、有効求人倍率が全国よりも高い水準で推移しており、人手不足感がますます高まっております。人手不足を解決する根本的な対策は、就業者

数を増やすことであり、そのためには、高齢者や女性など様々な方が、それぞれの希望に応じた働き方ができる職場環境の整備、すなわち働き方改革の推進が重要であると考えております。

特に、鳥取県においては、人口の約三分の一が六十五歳以上となっており、この割合は今後ますます増加していくと見込まれています。こうした中、労働局としましては、生涯現役社会の実現を着実に進めていくため、シルバー人材センターと連携しながら、高齢者が地域で働ける場、社会を支え活動できる場の拡大に引き続き取り組んでいくこととしております。

労働局は、地域の雇用を支える役割を担って

おります。労働者・企業・関係団体をはじめ、地域の皆様からいただく期待・声を施策に活かしながら、地域を共に盛り上げていく一員として、力を発揮していきたいと考えております。会員の皆様には、これまでに培った経験を活かして、社会の支え手として一層ご活躍されることをご期待申し上げるとともに、本年が皆様にとって明るい良い年となることを祈念して、新年のご挨拶といたします。



シルバー人材センター 理事長・会長の抱負



公益社団法人鳥取市シルバー人材センター



理事長 伊藤 茂樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、おだやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本センターは、会員の拡大を目指して、毎月第二、第四火曜日に開催している入会説明会で使用しているパワーポイントに説明音声録音した電磁的記録を作成しました。

併せて、入会手続きの規程を改正して、電磁的記録を視聴した者は、入会説明会に出席したものとみなすこととし、電磁的記録の視聴により、いつでも、入会ができるようになりました。

さて、昨年十月一日にシルバー人材センターの運営に多大な影響を及ぼすインボイス制度が施行されました。

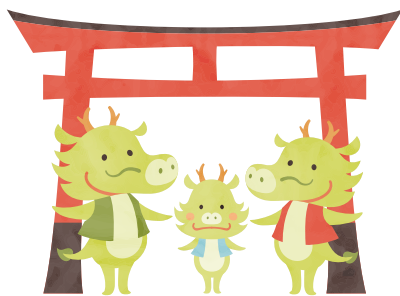
本センターは、事務費率を引き上げ、必要な資金を確保することになりましたが、今後、仕入税額控除率は引き下げられていくため、資金運営に大きな打

撃を受けることとなります。

また、昨年五月十二日に「フリーランス・事業者間取引適正化法」が公布され、センターは、現在、電話で会員に連絡している仕事の内容等を書面又は電磁的方法により行うことになり、事務局の負担が増えることとなります。

本センターは、地域社会への貢献を目指して、会員の拡大を図るとともに、センターの運営において、現在、整備される法制度との間に乖離が生じつつあるとの認識の下、早急に資金管理や事務処理の方法、事務局体制を見直していく予定です。

終わりに、関係各位のご発展と会員の皆様並びにご家族のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



公益社団法人米子広域シルバー人材センター



理事長 松岡 勉

あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

地域の皆様、行政や関係機関のご支援によりシルバー事業の活躍の場が図られていることを厚くお礼申し上げます。

人口減少、少子高齢化が進行する我が国は、高齢化率が約二十九％に達しており、シルバー人材センターは健康で働く意欲のある地域の高齢者の臨時的・短期的な就業と雇用の促進を図るため、個人・家庭をはじめ各種団体、企業、公共から多様な就業機会を確保し提供しているところです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から四年が経過し、日常生活や社会経済活動は回復してきましたが、当センターにおいては、依然として会員数や受注件数が減少するなど様々な影響が続いています。人生一〇〇年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っていく必要があります。

当センターに対する地域の期待に添えていくため、少子高齢化の進行、地域における人手不足、政

府が進める高齢者就業施策の方向性を踏まえた上で、会員の拡大の取組みを核に据え、未就業会員の解消の取組み、就業機会の維持・拡大、安全・適正就業の更なる推進、センターの適正な運営などを重点的に推進してまいります。

終わりに皆様にとって、明るい希望に満ちた良い新年になりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人倉吉市シルバー人材センター



理事長 田民 義和

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、新年をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

本年は、干支（十干十二支）の組み合わせの四十一番目「甲辰（きのえたつ）年」です。甲辰年には、「成功という芽が成長していき姿を整えていく」という意味があるそうです。会員の皆様のお力をお借りし倉吉市シルバー人材センターがより一層発展していけますよう職員一同頑張っております。会員の皆様におかれましては昨年同様、シルバーの基本理念のもとで、「明るく・楽しく・元気よく・仲間とともに」をモットーに活動してまいります。

さて、センターが取組む最重要課題は、安全就業と会員増強です。会員の皆様には「元気に出かけ、笑顔で帰る」を合言葉に安全就業に徹していただきますようお願いいたします。また、会員増強に向けてセンターは、定例説明会以外にも随時の説明会を開催したり、仕事説明会の日程を増やしたりしていきまますが、会員の皆様には、引き続きお友達をご紹介いただきますようお願いいたします。

会員の皆様が就業を通して社会とつながり、会員同士がつながる倉吉市シルバー人材センターであり続けたい、そのためにも会員の皆様のお力が必要です。本年もどうぞよろしく願います。

終わりに、会員の皆様並びにご家族をはじめ関係各位のご健康とご多幸を心よりご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人境港市シルバー人材センター



理事長 米村 健治

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、栄えある新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、コロナ禍での苦しかった三年間を乗り越え、様々な規制が緩和されたことから、賑わいを感じられるようになってきたところです。一方、世界各地では、紛争が頻発、また世界規模での気候変動等もあり、原油高に端を発し、様々な価格が高騰するなど、先行きの不透明感が増した年でした。

このような中、当センターでも、懸案であったインボイスへの対応、高騰する諸物価への適応や社会全体の労働力不足による新規会員の獲得などに苦慮しました。

企業は「環境適応業」と言われますが、これは、社会という大きな土台の変化は決して無視できない大きなものであるから、環境の変化を敏感に捉えながら自社の変化や進化を図っていかなければ存続していくことが難しいからです。当センターでもしっかりと社会情勢を見極めながら、的確な対応を進めていかなければなりません。

人生一〇〇年代を迎え高齢者が果たす役割は、益々重要となっております。このことをセンターの核となる会員、役員が自覚し、地域に貢献し、信頼を高めていかなければなりません。この地道な努力を重ねることが「会員数と就業機会の拡大」につながり、当センターの発展と高齢者の幸せにつながると信じて疑いません。

結びに、本年が、皆様にとってご健康で幸せに満ちたよい年になりますよう、心より祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人南部広域シルバー人材センター



理事長 有馬 均

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。地域の皆様のご支持と南部町・伯耆町・関係機関のご指導・ご支援・ご協力により、事業運営が進められたことを厚くお礼申し上げます。我が国においては、少子高齢化の進行により人口は、二〇〇八年をピークに減少に転じています。また高齢化率も高い水準で推移しています。当センターは、高齢者が健康で意欲がある限り年齢にかかわらず働くことができる地域社会の活性化に貢献できるように努めてまいります。

さて、シルバー人材センターを取り巻く環境は、たいへん厳しい状況です。昨年十月に導入された消費税における「インボイス制度」が施行され、今後は厳しい事業運営が予想されます。また、経済においては、緩やかな持ち直しが続いています。世界規模のエネルギー、食糧価格の高騰など生活に大きな影響を及ぼして厳しい状況にあります。

このような状況の中、今年も、「安全第一」、「事故ゼロ」をめざし、問題意識をもって会員拡大、就業開拓、適正就業に積極的に取り組み信頼され魅力あるシルバー人材センターとなるよう役員一同努力し

てまいりますので皆様のかわらぬご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。皆様にとって、幸多いよい年になりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

公益社団法人智頭町シルバー人材センター



理事長 谷口 辰夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、令和二年春から猛威を振るったコロナ感染症対策の進展により、昨年五月から感染症法の五類に移行されたことにもあり、シルバー人材センターの事業活動も徐々に回復傾向にあります。

一方、私たちを取り巻く環境は、三年続いたコロナ禍での生活習慣と少子高齢化に伴う人口減少により社会が縮小化したのではないかと思うほどです。公共交通形態の変更・買い物環境の変化など日常生活に大きな変化が生じています。

このような変化に対応しながら地域社会の多種多様な要望に応える為には

一、最優先課題は安全就業の徹底です。

シルバー会員は高齢者です「自分の安全は自分で守る」という意識啓発と安全パトロールを定着化して安全就業の徹底を行います。

二、会員数増強と技量の向上が必要です。シルバー力を発揮する為には会員数増強が必須です。特に女性会員さんが必要です。会員各位のご協力を頂きながら引き続き役員が取り組んでいきます。

元気なうちはいくつになっても働き続けることが出来る就労環境を整えて、センターの会員が地域社会のニーズに生き生きと応えて行く集団であり続けたいと考えています。

終わりに、皆さま方のご健勝とご健康をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人岩美町シルバー人材センター



理事長 中澤 博之

新年あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

五月には、新型コロナウイルス感染症が五類感染症へ移行され、濃厚接触者の外出制限が解除されま

した。また八月には台風七号により鳥取県東部を中心に大きな被害があり、激甚災害ともいわれられています。災害に見舞われました皆様は心よりお見舞い申し上げます。

さて昨夏においては、猛暑、酷暑が続く暑さとの戦いでした。当センターは会員の健康を維持するため、就労時間の短縮を実施し、熱中症予防対策を講じました。しかし就業延人日の増、請負業務に逼迫が生じてしまいました。今後は特に新会員の入会促進を図り、業務に支障をきたさないよう努めてまいります。「安全は全てに優先する」を基本理念に、安全・適正就業開拓推進委員による現場のパトロールを強化し、今後も安全就労を第一に、事故ゼロを目指してまいります。

十月にはインボイス制度が導入されました。当センターでは、一昨年より協議を重ね対応策として今年度より事務費を八%から十%に引き上げを行ないました。

全国的にシルバー人材センターを取り巻く環境は、目まぐるしく変化しております。魅力あるシルバー人材センターを構築し、更なる発展にむけて努めてまいりますので、本年も関係各位のご支援とご協力を賜りますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人湯梨浜町シルバー人材センター



理事長 米村 繁治

新年あけましておめでとうございます。

昨年はインボイス制度導入等ある意味今後のシルバー人材センター運営上大きな変革が始まる年となりました。また三年続いたコロナ感染による規制が解除され生活様式も徐々に日常を取り戻した年となりました。

今年も昨年に続き秋にはインボイス制度に対応した新契約方式導入に伴う運営上の大きな改正が予定され変革の正念場を迎える年になろうとしています。こうした大きな変革のなかでもシルバー人材センターに求められる地域での役割を發揮しながら会員相互の交流を深め経験豊富な能力を發揮して健全な運営を目指す所存です。

終わりに、この一年が皆様にとって希望に満ちた年でありますことを祈念して新年の挨拶といたします。



公益社団法人琴浦町シルバー人材センター



理事長 種子 光幸

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の中国ブロックシルバー人材センター連合協議会主催の研修会において講演された、全国シルバー人材センター事業協会の金子順一会長の提言がこれからの事業運営の参考になります。ひとつには、高齢化の進展による社会構造の変化を直視し、「老いに向き合う就業」を基本戦略にし、シルバーにしかできない就業サービスの提供が会員拡大、地域貢献につながりシルバーの存在を高める。つぎには、女性会員の活躍が事業活性化につながるという提言です。

当センターにおいては、公共・企業・民間の受注区分のうち企業からの受注が少ない傾向で推移しています。企業等の仕事の一部を「切り出し」でシルバーができることはないかと働きかけ、就業先の窓口を拡げていくことが重要だと考えます。また、町の生活支援の分野での仕事が多くなり女性会員の増加に繋がってきていますので、これからも女性会員が働きやすい仕事を開拓していくことも重要な課題です。

地域の要望を掘り起こしていきながら一方で會員の増加を図らなければなりません。安心して任せてもらえて、安全で生き生きとした就業の場であることを地域の皆さんにアピールしながら會員拡大運動に取り組みます。

これらを重点項目として取り組み、本年度も地域の負託に応えるシルバー人材センターであり続けられるよう努力する所存です。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人北栄町シルバー人材センター



理事長 日置 勝彦

新年おめでとうございます。

皆様には、ご家族おそろいで健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年来の新型コロナウイルス禍は、五類への移行に伴いシルバー事業の活動も少し活性化できたこと喜んでいるところですが、感染は収まらず注意が必要

です。内外の動きとしてロシアのウクライナ侵攻が収まらないうちに、中東でのパレスチナ・ハマスとイスラエルの戦闘が始まり、多くの人命が虐殺されている現状に、心からの怒りを禁じえません。国内でも

円安に拍車がかかり賃金が追い付けない物価高で貧富の差も拡大し、私たち高齢者の安心安全な生活環境も遠のいています。こうした中でも會員の皆様のシルバー事業への協力と熱意によって、着実に事業の進展が図られて参りました。

ところで去る十月には、シルバー人材センターの存続を左右する「インボイス制度」が導入されました。結果的に事務費の引き上げをせざるを得ず、お客様への負担増と事務量の拡大等の影響がでています。引き続き消費税の見直しなどで、シルバー事業の発展と免税事業者であるシルバー會員の負担減へ、将来展望を踏まえた対応が欠かせません。国会対策など今後とも関係機関への働きかけが必要に感じます。

同時に、人生一〇〇年代の展望を踏まえて、シルバー人材センターが高齢者の社会進出や健康維持に大きく貢献している現実から、自治体や関係機関に対して助成金の拡大や業務の発注などに、協力を願っていただくことも重要なことだと思えます。

さて、本年の最重要課題として、會員の拡大を喫緊の課題として取り組んでいこうと思えます。特に女性會員の拡大にも配慮して、就業場所確保にも取り組みます。會員の平均年齢アップの現状から、お客様の要望に応えられない事態への危機感を覚えます。日常的に安全就業を念頭に置きながら、會員拡大を常時心掛けてまいります。

更に、利用者の皆様に、いざというときにシルバー人材センターが身近にあるという認識を持つていただくために、いろいろな機会を活用して広報活動

にも取り組んでまいります。

昨年に引き続き、業務や交通などで安全対策をしっかり認識し、家庭での健康管理にも留意して就業に取り組み、シルバー人材センターへの信頼を高めましょう。

今年も、健康に留意して元気で明るく楽しく、就業に取り組んで参りましょう。

公益社団法人大山町シルバー人材センター



理事長 西川 昌康

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ禍も収束の方向ですが、この間、当センターも事業運営に多かれ少なかれ影響を受けてきました。

こうした中、経済界で雇用情勢の改善が進み、昨秋に発表の求人倍率からも顕著な人手不足を示しています。高齢者の社会参加などシルバー人材センターに寄せる期待は大きく、好機を得たものと思えます。

この機会を捉えて、事業実績の停滞を課題とする当センターでは、諸対策を講じていかなければなら

ないところでは。

地域の高齢化は、多種多様の期待・要望をシルバーに寄せています。需要が有るわけです。この期待に応えるために根幹である会員の拡充を図り組織を強化することが不可欠です。

次の課題が、固定した長期の就労先の開拓です。企業立地の少ない地域ですが、派遣事業への取組みも重要です。役員、会員それぞれが広報員として取組み、開拓しなければならぬところです。

各種事故防止も課題です。地域に密着して活動するシルバーにとって信頼を得る基本です。組織を挙げて取組まなければならないところです。

今年も、関係各位のご指導・ご支援を承りながら事業を推進してまいります。皆様にとりまして良い年でありましてことを祈念致しましてご挨拶いたします。

一般社団法人八頭町シルバー人材センター



理事長 **衣笠 春寿**

新年あけましておめでとうございます。

県内各センター会員の皆様、シルバー事業推進にご尽力をいただいている関係者各位におかれましては、ご明るく新年を迎えられたこと祈念しながらお慶び

申し上げます。

当シルバー事業の展開も法人化以降、様々に対応の変化を求められながら地域への貢献を続け、信頼を受ける努力を重ね、ようやく安定軌道に乗ってきたように思います。

さて新年も地域のますますのきびしい高齢化の中で会員数増を見込めない現実の課題をきびしく受け止めなければなりません。会員の皆さんは日常のご自分の生活、社会的な義務も、時には趣味も、しっかりこなした上でシルバーの会員として地域のニーズにも健康で安全・安心もしっかり活動を果たされています。

昨年の異常な酷暑の夏はきびしいものでした。毎日毎日です。地球温暖化による異常気象が国内の数々の災害の発生となり、目をおおう悲惨さでもありました。変わらぬ油断ならないコロナ感染の恐れ、世界での紛争、戦争の起こす涙するせつない憂いなど、いろいろな困難がシルバーの皆さんの想定を超えて心の髄にしみ込んでしまっています。

しかしながらこのきびしい状況を乗り越えて今こそ、新年こそ、高齢者でもある皆さんが力強く地域で生き生きと仲間と交わりながら活動されていくことが期待されているのです。高齢者の活躍こそ地域の元氣であります。新年も、ぜひ事故のない安全なシルバー生活を過ごされますよう心より願って新年のご挨拶いたします。

江府町シルバー人材センター



理事長 **南波 英幸**

新年あけましておめでとうございます。

昨年は猛暑日が大変多く、作業にも支障をきたしご苦労されたセンターも多かったと思います。当センターでも、軽度ですが熱中症の罹患者が出るほどでした。

先般、中国ブロック役員研修会に参加しましたが、その中で八代市センターの講演があり、市の人口は十二万七千人でセンターは昭和六十一年に設立されたようです。会員数は令和四年時点で千二百八名、職員数も十三名おられるとのことでした。当然、実績も多く四億一千四百万円と説明があり大きければ大きい方の良い面や御苦労もあるのだと拝聴いたしました。江府町は、「三〇〇〇人の楽しい町」をスローガンに掲げ町づくりを行っています。会員は五十名弱と少ないですが、町民の要望になるべく応えるよう細やかでスピーディーな対応ができるよう会員の皆様にも無理をお願いしています。

当センターでは今まで作業に関する事故がほとんど無かったのですが、昨年は賠償事故が二件、傷害事故が五件起こりました。傷害事故は軽症ですし賠償事故も高額ではありませんでしたが、このことを氷山の一角ととらえ、安全就業への対策をしっかりと

行い年間無事故を目指して活動したいと考えています。

終わりになりますが、皆様にとってご健勝でさらに活躍されることを祈念しまして年頭の御挨拶とさせていただきます。

日南町シルバー人材センター



会長 坪倉 幸徳

新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、会員の皆様をはじめ各関係機関のご指導でご協力を頂き大きなトラブルも無く事業を推進出来た事に感謝をしたいと思います。

日南町は高齢化率が、鳥取県の各市町村のトップ、五二・二％で独居老人の方も多く、仕事に対する依頼は年を追う事に多くなっています。それに伴う会員がなかなか増えなくて悩みとなっています。

また、新人会員が入会してくれないので会員の高齢化も問題になっています。これ等の問題をクリアすべく若い会員の募集に力を入れているのが現状です。高齢者の皆さんからの依頼は何かと思いいも有りトラブルも起こりがちですが、日南町ではそう

いう事も少なくお互いに良い関係を保ちながら作業をしています。地域の皆さんのニーズに答えながら会員の健康を重視して無理のない安全な作業を心がけながらお客様に喜んでもらえるような作業体制で頑張っています。その為、昨年は会員の心の統一を図る目的でお揃いの作業用ジャンパーを作りどこで作業をしても、日南町シルバー人材センターの会員だとわかるようにし、安全作業に努めています。これからも日南町の皆様の依頼に答えるべく信頼される日南町シルバー人材センターでありたいと思います。

最後になりますが本年も関係各位のご支援とご協力を賜われますと共に皆様の繁栄とご多幸を祈念し新年の挨拶いたします。

三朝町シルバー人材センター



理事長 田淵 忠昭

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては新年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は異常気象による、高温・大雨・台風七号による激甚災害等々自然災害が多く発生し、県内センターの会員の皆様の中にも直接災害に直面された方

も多いと思います。心よりお見舞い申し上げます。さて、近年の傾向として私どものセンターでも、入会される方が増えておらず、作業依頼に追いつかない現象が見られます。各企業も全体的に人員不足の傾向にあり、六十歳定年後も再雇用され同じ企業で働く方々が多くなっています。完全に退職された時には、高齢になっておられ次のステップに進むことが難しいのであろうと推測されます。

作業依頼の件数は、世代交代等などの影響もあり大幅に増加していきます。田畑の縮小や庭園なども手入れが大変になり縮小、高木は伐採処理等が多くみられます。空き家になっている建物等は、屋敷周りの草刈り作業依頼、家の片付作業等々。田畑に関しては、減反や作り物の半減などで荒廃が進み草刈り作業の依頼が多くなっています。公共事業におきまして、これまで集落へお願いしていた作業が高齢化により出来なくなり、センターへの作業依頼が増加傾向にあります。会員の確保にこれまで以上に力を入れなければと考えている所です。

さて本年も、異常気象は続いてというよりもさらに危険な暑さ、線状降水帯の発生・局地的大雨等の自然災害は起こる可能性が大です。「自分の命は自分で守る」を合言葉に日頃から危機管理を徹底しましょう。



令和四年度(下半期)事業実施状況

第二回理事会

令和五年三月二十日(月)倉吉市において、第二回理事会を開催した。

議案第一号

令和四年度収支補正予算書(案)について

議案第二号

令和五年度事業計画(案)について

議案第三号

令和五年度収支予算書(案)について

議案第四号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職員就業規則の一部改正について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会就業機会開発推進委員会規程の一部改正について

令和五年度(上半期)事業実施状況

令和五年度定時総会

令和五年六月二十一日(水)倉吉市にて定時総会を開催し、すべての議案が原案どおり承認された。

議案第一号

令和四年度事業報告承認の件

議案第二号

令和四年度決算報告承認の件

【監査報告】

議案第三号

理事及び監事選任の件

第一回理事会

令和五年六月五日(月)倉吉市において、第一回

理事会を開催した。

議案第一号

令和五年度定時総会(案)について

議案第二号

令和四年度事業実施報告書(案)及び収支計算書(案)について

【監査報告】

議案第三号

令和五年度収支補正予算書(案)について

議案第四号

保存期間が終了した会計関係書類の処分について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会第十三期理事及び監事候補者の選考について

臨時理事会

令和五年六月二十一日(水)倉吉市において、定時総会終了後、臨時理事会を開催した。

議案第一号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会会長、副会長及び常務理事の選任について

第二回事務局長会議

令和五年十月二十七日(金)倉吉市において、第一回事務局長会議を開催した。

議題

- ・第二回都道府県シルバー連合事務局長会議伝達
- ・シルバー派遣事業教育訓練の実施について
- ・今後の連合会主催の主な会議等の日程について

第一回安全・適正就業推進委員会

六月八日(木)倉吉体育文化会館で開催し、原案どおり承認された。(出席者十七名)

議題

- 一 令和四年度 事故(傷害・賠償)発生状況について
- 二 令和四年度 安全・適正就業推進事業の実施状況について
- 三 令和五年度 安全・適正就業対策実施計画について
- 四 令和五年度 安全・適正就業推進事業基本計

画(案)について

五 令和五年度 シルバー人材センター事業

安全・適正就業強化月間実施要領(案)について

六 その他

安全・適正就業推進委員会による安全パトロール

智頭町シルバー人材センター 推進委員三名

六月十五日(木) 智頭町内

たけよし 剪定作業 就業会員 七名

江府町シルバー人材センター 推進委員三名

九月十二日(火) 江府町内

畦畔地 草刈作業 就業会員 七名

琴浦町シルバー人材センター 推進委員三名

九月十五日(金) 琴浦町内

県立琴の浦支援学校 草取作業 就業会員 三名

さらり公園 草刈作業 就業会員 四名

安全・適正就業指導員による安全パトロール

北栄町シルバー人材センター

四月二十七日(木)

由良宿 消毒作業 就業会員 二名

米子広域シルバー人材センター

六月十六日(金)

米子市南公園墓地 草刈作業 就業会員 十八名

岩美町シルバー人材センター

七月四日(火)

岩美町本庄 草刈作業 就業会員 六名
三朝町シルバー人材センター

七月十二日(水)

三朝町SC 剪定作業会員 二〇名

南部広域シルバー人材センター

七月三十一日(月)

溝口二部 草刈作業 就業会員 十一名

八頭町シルバー人材センター

八月三日(木)

八頭町郡家 剪定作業 就業会員 三名

湯梨浜町シルバー人材センター

八月十日(木)

山陰道高架下 草刈作業 就業会員 六名

倉吉市シルバー人材センター

九月二十五日(月)

西福守町 剪定作業 就業会員 三名

丸山町 剪定作業 就業会員 二名

上井 剪定作業 就業会員 四名

鳥取市シルバー人材センター

十月三日(火)

南栄町 草刈作業 就業会員 三名

里仁 剪定作業 就業会員 三名

日南町シルバー人材センター

十月十二日(木)

日南町下石見 剪定作業 就業会員 四名

大山町シルバー人材センター

十月十六日(月)

大山町大山口 剪定作業 就業会員 三名
境港市シルバー人材センター

十一月十七日(金)

境港市内 清掃・草刈・派遣先作業

就業会員 八名

安全・適正講習会

令和五年度の安全就業講習会は、東・中・西部地区で各警察署担当者による「高齢者の交通事故防止と免許更新について」を実施した。

東部地区 十一月十日(金)

鳥取市シルバー人材センター 参加者十五名

中部地区 十一月七日(火)

倉吉体育文化会 参加者十九名

西部地区 十一月六日(月)

米子広域シルバー人材センター 参加者二十名



令和5年度中国ブロックシルバー人材センター連合協議会 役職員研修会の開催

令和5年度中国ブロックシルバー人材センター連合協議会役職員研修会を開催しました。

日程	会場	参加人数
10月24日(火)～25日(水)	米子コンベンションセンター	282名

10/24

基調講演 事業改革を進めるために

講師：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会 会長 金子順一氏

講演：組織運営の合理化とコストカットの手法

～会員拡大活動を支えてきた活動原資確保の重み～

講師：公益社団法人八代市シルバー人材センター 常務理事 松村克法氏



10/25

講演：インボイス後の消費税の具体的な仕訳事例

令和7年施行予定新たな公益法人制度の内容について

講師：衣目公認会計士・税理士事務所所長 公認会計士・税理士 衣目成雄氏

デジタル環境利用促進事業

スマホ活用講習会の開催

デジタル環境利用促進事業を活用し、シルバー会員向けにスマホ講習会を開催し、会員のデジタルリテラシーの向上及び各シルバー人材センターにおけるデジタル化推進のスタートアップを図りました。

地区	会場	日程	定員	参加人数
西部地区	米子コンベンションセンター	8月25日(金)	12	8
中部地区	鳥取県立未来中心	8月31日(木)	12	10
東部地区	とりぎん文化会館	9月14日(木)	12	11



西部地区



中部地区



東部地区

インボイス制度の研修会

令和5年10月1日のインボイス制度導入前に、公認会計士を講師に迎えシルバー人材センター職員向け「インボイス制度導入に伴う研修会」を開催しました。また、エイジレス80システム導入のシルバー人材センターに対し、インボイスに関係する入力処理方法等について研修を行いました。

名称	会場	日程	参加人数
インボイス制度導入に伴う研修会	鳥取県立未来中心	9月13日(水)	27
NRIインボイス研修会	鳥取県立未来中心	9月27日(水)	14



インボイス制度導入に伴う研修会



NRIインボイス研修会



高齢者活躍人材確保育成事業

各種技能講習の開催

今年度の高齢者活躍人材確保育成事業は、県内の元気な高齢者に、人手不足分野や現役世代を支える分野などで就業して活躍いただくために、7種類の技能講習のほか、就業体験、職場見学、セミナーを計画・実施しました。

また、周知広報は、テレビCMや公共機関広報紙のほか、デジタルサイネージへの広告などでシルバー人材センターの活動などを紹介し会員獲得に努めました。

開催地	講習名	日程	日数	定員	受講者	修了者
東部 鳥取	草刈技能講習	6月22日(木)	1	10	5	5
	剪定技能講習	7月4日(火)～5日(水)	2	10	14	14
	ハウスクリーニング講習	9月25日(月)～26日(火)	2	10	9	7
	自動車安全運転講習	10月11日(水)・12日(木)	2	12	9	9
	スマホ講習	11月15日(水)	1	10	10	10
中部 湯梨浜 倉吉	草刈技能講習	6月13日(火)	1	10	13	13
	調理補助スタッフ講習	7月24日(月)～25日(火)	2	10	2	2
	ハウスクリーニング講習	8月22日(火)～23日(水)	2	10	2	2
	剪定技能講習	9月4日(月)～5日(火)	2	10	4	4
	スマホ講習	11月22日(水)	1	10	5	5
西部 米子	草刈技能講習	5月24日(水)	1	10	15	15
	剪定技能講習	6月6日(火)～7日(水)	2	10	5	5
	調理補助スタッフ講習	8月7日(月)～8日(火)	2	10	7	7
	介護補助講習	10月18日(水)～19日(木)	2	10	8	8
	スマホ講習	12月6日(水)	1	10	9	9
合計	15		24	152	117	115

令和5年12月末日現在



草刈技能講習・湯梨浜



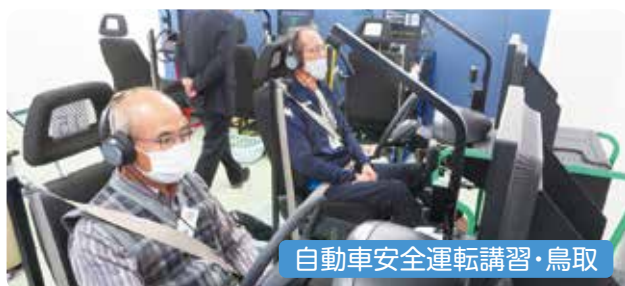
剪定技能講習・倉吉



調理補助スタッフ講習・倉吉



ハウスクリーニング講習・鳥取



自動車安全運転講習・鳥取



介護補助講習・米子

就業体験・職場見学・セミナーの開催



就業体験は、センター・JA・介護施設の協力をいただいて開催しました。
職場見学は、センターの現場の協力と依頼者の理解を得て開催しました。
セミナーは、女性会員拡大を目指して昨年に引き続いてシニア女性限定で「メイクセミナー」を開催しました。

■就業体験

就業体験名	会場	日程	日数	定員	参加者
草刈・就業体験	JA全農とっとり米子	5月25日(木)	1	10	4
草刈・就業体験	JA鳥取いなば農機センター	6月23日(金)	1	10	4
介護補助・就業体験	医療法人真誠会	10月20日(金)	1	10	5
合計	3		3	30	13



草刈・就業体験・米子



介護補助・就業体験・米子

■職場見学

就業体験名	会場	日程	日数	定員	参加者
剪定・職場見学	米子市福市地内	6月8日(木)	1	10	5
剪定・職場見学	琴浦町逢束地内	中止			
合計	2		1	10	5



剪定・職場見学・米子

■セミナー

就業体験名	会場	日程	日数	定員	参加者
60歳からの身だしなみ メイクセミナー	とりぎん文化会館	11月7日(火)	1	20	15
60歳からの身だしなみ メイクセミナー	倉吉未来中心	11月9日(木)	1	20	4
合計	2		2	40	19



60歳からの身だしなみメイクセミナー・鳥取

周知・広報活動

1 テレビCM放送による広報活動

SC女性部会員出演によるCMを作成し、民放テレビ局3社で放送しています。



2 テレビ取材による広報活動

民放テレビ局3社に、シルバー会員の就業状況等の取材を依頼し、ニュース・情報番組等で放送されました。



墓掃除（山陰放送）

3 新聞折込チラシによる周知・広報活動

新聞全紙に折込を行い、会員・仕事の募集及び技能講習等の周知を図りました。



草刈技能講習（山陰中央テレビ）

4 経済団体広報誌等による広報活動

商工6団体に仕事の募集広告を掲載しました。また、「県政だより」に会員募集の広告を掲載しました。

技能講習に参加して

技能講習を受講された方々の声をお届けします。

調理補助スタッフ講習を受講して

～昔取った杵柄を思い出して～



公益社団法人
湯梨浜町シルバー人材センター
前田 美智子

八年前、犬の散歩中に転倒、大腿骨を骨折し、二ヶ月の入院を余儀なくされました。後遺症が残り、三十五年続けた自営の飲食業を廃業しました。

リハビリを続け、ようやく少しずつ人並みの歩行が出来るようになり、知人の勧めもありシルバー人材センターに入会しました。

センターでは、ポスティング、清掃業務、障子張り替え作業の仕事をさせていただき五年になりました。障子張り替え作業では、先輩の方から新しい仲間と一緒に技術指導をしていただいています。なかなか技術向上は難しいものの、気の置けない仲間と楽しく仕事をしています。

そんな中、昨年七月、シルバー連合会主催「調理

補助スタッフ講習」に参加することができました。

長い間していた飲食業が懐かしく思い出されました。

二日間の講習は、「生活習慣病予防」「食中毒予防」「フレイル予防」を目的とした内容でした。また、調理実習では、「生活習慣病予防食」「咀嚼、嚥下困難食」を作りましたが、食材も多く使っており、栄養のバランスもよく、とても美味しく勉強になりました。

これを機会に、小規模多機能施設、グループホームなどで調理補助スタッフとして働くことを希望しています。

自分も高齢者としてこれから生きていくのですが、もともと脚力にも不安を感じていましたので、働ける間は仕事をするので社会と関わっていきな

いと思っています。

草刈技能講習を受講して

～知識と技術の向上を目指して～

公益社団法人
米子広域シルバー人材センター

長谷川 礼司

私がシルバー人材センターに入会したのは、新聞に入っていた「草刈技能講習」のチラシを見て受講したのが契機でした。

普段自分が行っている家の草刈りに関して、知識と技術のスキルアップをしようと思いました。加えて、草刈班に入って働けたらという思いもあったのです。

しかし、一日を通して働けない家庭の事情があり、草刈班での仕事は諦めました。草刈技能講習を通じて教わった事は大変参考になりました。

六月に入会し、それからはシルバー人材センターの一時的な仕事をしていましたが、十月に入り剪定作業員募集のポスターを見て、何とか午前か午後のどちらか働けないかと相談したところ、剪定班の班長さんと引き合わせて頂くことが出来、午前中に働くこととなりました。今まで剪定講習を一度も受けたことがない私ですが、一から現場で教わりながら充実した時間を過ごしております。

体が動く間は健康に気を付けながら、無理せず続けていけたらと思っています。





公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター

事務局長 浅田 朋典

本センターは、平成十六年に旧東伯町、旧赤碕町のセンターが合併し、社団法人としての歩みをはじめ、平成二十五年に現在の公益法人へと移行しました。

公益法人移行後、会員数は、概ね一五〇名程度で推移しておりますが、若い会員の獲得が難しく、センター内の高齢化が進んでいる状況下にあります。会社の定年延長や再雇用等により、これからますます若い会員の獲得が難しくなると思われませんが、引き続き広報や入会説明会に力を入れ、会員増に向けて取り組んでいきたいと考えます。

一方、受注状況は公共事業と一般家庭からの受注が多いのが特徴です。公共事業における草刈りをはじめ、一般家庭からは、剪定、掃除、墓掃除、雪かき等様々な仕事を受注しております。

近年では、独居老人家庭からの依頼も増加し、生活援助を主とした仕事も多く受注するようになりました。

このようにセンターでは日々様々な仕事の問い合わせをいただきます。

時には仕事以外で相談的なものもあります。「センターに問い合わせをすれば、なんとかしてもらえらる」町民にはそのような存在として、センターが映りつつあるのかもしれない。

事務局長として三年目を迎えましたが、これまでの運営において、センターは町の社会資源の一つとして位置づけられるものになってきていると、感じようになつてきました。

ただこれは、ここ数年の努力の話ではなく、先人の会員、事務局職員のこれまでの努力の結果だと考えます。

先人が築いてくれたこのセンターを少しでも発展させ、これからも町民の負託に丁寧に応えていけるようなセンターを目指し、組織運営に努めたいと思えます。



剪定講習会



ボランティア活動



特別史跡斎尾廃寺跡発掘調査作業



三朝町シルバー人材センター

事務局長 山崎政一

三朝町は県の中央部に位置し、町制施行七十周年を迎えた鳥取県において二番目に大きな町です。日本遺産に認定された、日本一危ない国宝観賞「投入堂」のある三徳山と世界屈指のラドン泉「三朝温泉」、三徳川の辺にある露天の河原風呂、名勝「小鹿溪」を有する、観光資源に恵まれた町です。豊かな自然がいっぱいの環境でゆったり暮らすことができ、三朝米を始め梨・神倉大豆などの特産品も豊富にあります。

本センターは平成十五年四月に、役場の一角を借りて設立。平成十八年には現在の場所に移転し独立、昨年二十周年を迎えた小規模なシルバー人材センターです。

会員数は男性三十七名・女性二十二名 計五十九名で、設立当初からあまり変動もなく推移しています。平均年齢は七十二・八歳で全国平均並みですが、高齢化が進んでおり六十代の会員の確保が急務です。就業状況は公共、法人で六割、民間で四割の

割合で仕事に従事しています。年間計画として、年五回の理事会をベースに安全・適正就業状況の確認・講習会・ボランティア等の立案・問題点の把握と対応を行っています。七月に刈払講習会・剪定講習会並びに意見交換会を実施。令和五年度は連合会より安全・適正就業講習会を開催して頂き感謝しております。特に蜂に刺された時のホイズンリムーバーでの対処方法を教わり大変役に立ちました。十月のボランティア活動では町内の三保育園の剪定・草取り・草刈・網戸の修繕等を実施、年末には役場と中学校に恒例になっている門松を寄贈し各方面の方々、町民の方々から感謝と喜びの声を頂いています。またインボイス制度への対応も各会員の理解と協力を得てスムーズに移行できたと思います。

町内の高齢化率は四十二・八%と高く、お年寄りが今までしていたことが出来なくなり、センターへの作業依頼は増加傾向にあります。センター自体が高齢化と人手不足で対応できない場合もあり、依頼に十分応えられないことが残念です。

これからも、地域社会と地域の人々に貢献できるようシルバー人材センターの魅力と意義を会員の方の力を借りながら幅広く発信し、会員増に努力し、みんなで一致団結し取り組んで参ります。



ボランティア活動



ボランティア活動



安全適正就業講習会



門松づくり



公益社団法人
鳥取市シルバー人材センター
有本 勝洋

私は六十歳まで、自営の建設業関係の仕事をしていました。会社を整理して十年間、好きな趣味、囲碁、麻雀、狩猟、クレー射撃、プレジャーボートで魚釣りと遊んでばかり。天候の悪い日は家で酒は呑む、タバコは吸うの無為な日々を過ごしておりました。

ある日シルバー会員の釣友達から、シルバーの入会に誘われ、平成二十五年五月七十歳にして、シルバー人材センターに入会しました。早いものですが、十年になります。

最初の仕事は今でも覚えていますが、選挙公報の袋とじでした。それから家具の移動片付け、東部生協の荷物の片付け、各神社の祭典準備、J.R乗降客調査、鳥取砂丘で観光客の誘導と、数多くの仕事に従事しました。その都度経験豊富な会員の多くの人と知合い勉強になる事も多く、今迄の生活とは違い、現役の頃の生き甲斐を感じています。

二年前に心筋梗塞で十日間入院してからは、生協の仕事だけは辞退しました。また、入会半年後、営



塗装作業
杉板に塗料を刷毛塗り

繕班に所属し、屋根外壁、フローリングの塗装、雨樋の取替修理、アルミ、木製建具の修理調整と、多種多様の作業をさせてもらっています。営繕の仕事は一人でする事が多く、自分のペースで出来るので大変気に入っています。しかし、お客様相手ですので、手抜等は絶対しない様、事故や怪我をしない様気を使います。また、仕上がりはお客様に満足して貰える事を第一に考えます。

自信過剰は、失敗、事故の元と己に言い聞かせ、これからも若い会員の方々に負けず、頑張っていくと思っています。



鳥取県護国神社祭典準備作業



鳥取県護国神社祭典準備作業

余信
十一月から狩猟解禁となります。猪鹿を追い山を歩き、足腰を鍛えるシーズンとなります。今は元気ですが、何時どうなるかわからない歳です。身体に支障のない限り、大いに楽しみます。

会員の広場



地域の為に 楽しく仕事をしたい

日南町シルバー人材センター

坪倉 幸徳

私はシルバーに入会してから今年で七年目になります。入会のきっかけは、私の地域の会員の人がからったからです。人手が足りなくてなかなか期日までに仕事が終わらないので何とか今回だけでも手伝ってもらえないだろうかと言う事でした。私としてはそんなに困っておられるのなら今回だけならと言う軽い気持ちで仕事を引き受けました。それが始まりで、それからたびたび手伝う様に成り自然に会員になっていました。

私事ですが今年で七十五歳になり、水田も二五〇a耕作していませんし、地域の色々な役員もしており一年を通してとても忙しい毎日を通していますが、参加してみると会員の人も気持ちのいい人達ばかりでいつの間にか楽しく仕事をしていました。

私の地域には、独居老人や都会に出てなかなか実

家に帰って来られない人も多く家の周りの草刈りや片付、盆の墓掃除等年間を通して沢山仕事の依頼があります。そういう困った地域の人達のお手伝いが出来て「ありがたいございました」という言葉を掛けてもらえる時に仕事のやりがいを感じます。

それから私は都会に出てなかなか実家に帰れない人になるべく現地の写真をデジタルカメラで撮って送るようにしています。久しく家に帰っておられない方からは懐かしく見えたとお礼の電話を頂く事もあります。

私も何かと忙しい毎日を送っていますが、私のモットーである「人を助けて、我が身助かる」という言葉をいつも思い出しながらこれからも地域の為に貢献して行こうと思っています。本当に我が身が助かるか分かりませんが、それはそれとして自己満足かもしれませんが、これからは日南町シルバー人材センターが地域の為に必要な組織で有り、その組織の中で自分も必要な会員であるように、益々頑張っていきたいと思えます。





ガラスと布クラフトに 魅せられて

公益社団法人
境港市シルバー人材センター

木下 三樹子

シルバー人材センターにお世話になるようになって一年が経過しようとしています。私の認識ではシルバーのお仕事といえば、樹木の剪定や襖・障子の張替えでしたが、実際に入会してみるとバリエーション豊富ななど思っているところです。

さて、趣味といえば、若いころから題材は様々ですが何かしらのもの作りをしています。現在は、グラスフュージングのアクセサリーと布の帽子制作をしています。グラスフュージングとは、ガラス工芸の一つで「板ガラスをカットして成形し、電気炉で溶解して器やアクセサリーなどを作る技法」です。というとし難しそうに聞こえますが、やってみると意外と簡単です。とはいえ、イメージ通りに仕上げるには鍛錬が必要です。

帽子の作成は、ストックしていた布でありきたりじゃないものをという発想で作成しています。教本



を見ながら作成すると、それなりの出来栄にはなりますが、布の厚さ・ハリなど素材が変われば組み合わせる副材料とのマッチングも一様とならないのが、難しいところです。

完成した作品は、お披露目の場として、米子・松江等で開催されるクラフト&ハンドメイドイベントに出店しています。アクセサリーは、ご自身用には勿論、プレゼントにもご利用いただけます。帽子は出品サイズが合わなければオーダーも賜っています、貝ボタンがポイントの麻のリバ



ーシブルベレー帽（写真）もそんな一点で、前回のイベントでお気に召していただいたお客様のサイズに合わせて作成しました。

今後もこの趣味をブラッシュアップして、幅広い年齢層の方々のニーズにきちんと応えられるよう、デザインやサイズ展開のバリエーションを充分に用意し、出店機会を増やしていきたいと考えています。また、ネットでの配信の手法も試してみたいとも考えますが、私の作品を気に入っていただけの方との出会いが何よりの喜びで励みとなることから、より多くの方との出会いを求めて、これからも頑張っています。

趣味のひととき



公益社団法人
湯梨浜町シルバー人材センター

越川 哲之介

戦国時代乱世の中興った武道「無想神伝流居合」。

私がこの武道の禅と出会ったのは約四十年前になります。その後事情があつて中断する時期もありましたが、この武道のとりこになり

なんとか現在までコツコツ継続

して鍛練を続け錬士六段という

段位を頂いております。しかし、

歳を重ねて体力も低下して思う

ように動けなくなり気持だけでは

強く稽古に励んでいますがなかなか納得できる形にならない難しい道だと感じています。そして、居合道は全国的にも会員数は多くないため段位審査に東京まで行かなければならない不便

武道の禅

居合道



刀を通して心を伝える

毎週土曜日 中央公民館羽合分館

さもありませんが、精神面の鍛練方法としてとても有効だと感じています。そうした状況で今の自分のできることとして現在町公民館で毎週1回居合道教室を開催して1人でも2人でも愛好者を増やし普及促進することが今後の目標にもなっています。また、自分自身も老いと上手に付き合いながら「継続は力なり」をモットーに自己鍛錬として少しずつでも前に進み納得できる居合道を目指し精進を重ねたいと思っております。



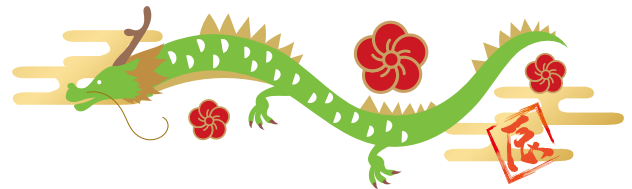
公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号	F A X
(公社) 鳥取市シルバー人材センター	伊藤 茂樹	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社) 米子広域シルバー人材センター	松岡 勉	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社) 倉吉市シルバー人材センター	田民 義和	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社) 境港市シルバー人材センター	米村 健治	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社) 南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社) 智頭町シルバー人材センター	谷口 辰夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社) 岩美町シルバー人材センター	中澤 博之	681-0065	岩美郡岩美町新井269	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社) 湯梨浜町シルバー人材センター	米村 繁治	682-0723	東伯郡湯梨浜町久留98-4	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社) 琴浦町シルバー人材センター	種子 光幸	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社) 北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社) 大山町シルバー人材センター	西川 昌康	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社) 八頭町シルバー人材センター	衣笠 春寿	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	南波 英幸	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-2942	0859-75-3900
日南町シルバー人材センター	坪倉 幸徳	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



明けまして
おめでとうございます

2024



表紙に寄せて

米子城跡から望むダイヤモンド大山

米子城は、昨年元日のNHK特番「日本最強の城スペシャル」において、絶景・最強の城に選ばれました。

天守跡からは、秀峰大山をはじめ、中海、日本海、市街地など360度のパノラマが広がり、ダイヤモンド大山、オレンジロードなど、米子城ならではの四季折々の絶景が楽しめます。

写真撮影 岡雄一氏

あ と が き

今回も、関係各位のご協力によりまして第三十八号の発行を迎えることが出来ました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

昨年は、五月にコロナウイルスが2類から5類に変更、十月にはインボイス制度の導入、また物価の高騰などがあつた年でした。令和六年(辰年)は、夏のオリンピック(パリ)大会があり、日本人選手の活躍は勿論、全出場選手の活躍が期待され、眠れない夜が続くのではないでしようか。また、秋ごろにはフリーランス新法の実施が予定されており、各センターではその対応が必要ですが、皆様と協力して対応していきたいと思えます。

令和六年は、皆様にとってより良い年になりますようお願い申し上げます。

会報 鳥取 第三十八号

令和六年 一月 発行

発行：公益社団法人

鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0811

鳥取県米子市角盤町一丁目七六

電話：〇八五九-三七一五三

FAX：〇八五九-三七一五三七

